

「大湫新明・白山神社の例祭」調査記録

- 日時：9月30日（土）【最終稽古】18時30分から20時00分まで
10月1日（日）【祭礼当日】8時30分から12時00分まで
- 場所：大湫町
- 出席者：安部利美、可知正巳、加知久宗、柴田明芳（9月30日）
青木本吉、安部利美、可知正巳、柴田明芳、山田和洋（10月1日）
欠席者：青木本吉、小栗幸江、桑原研二、小木曾建夫、三戸憲和、山田和洋
（9月30日）
小栗幸江、加知久宗、桑原研二、小木曾建夫、三戸憲和（10月1日）
事務局：砂田係長〔両日出席〕
その他：安田実佐子氏（民俗音楽学会会員）に音楽調査を依頼〔両日出席〕

■調査結果

【祭礼音楽について】

- 祭礼音楽には祭りの開始時（山車・神輿の巡行前）演奏するハヤシ（囃子）、山車の巡行時に演奏するナカ（中）・イキ（行き）・モドリ（戻り）・マワリメ（廻目）、神社での神事の際に演奏するエテンラク（越天楽）がある。
- ハヤシは、篠笛・大太鼓・小太鼓を用いて演奏するもので、ゆったりと演奏する1番、通常の速さで演奏する2番、早めに演奏する3番がある。
- ナカ・イキ・モドリ・マワリメは、能管（のうかん）・大太鼓・小太鼓を用いて演奏する。ナカは最初に新明神社から白山神社に移動する間のみ、イキは山車が新明神社から遠ざかる際、モドリは山車が新明神社に近づく際、マワリメは山車が回転する際に演奏される。
- エテンラクは竜笛（りゅうてき）・箏（ひちりき）・笙（しょう）・大太鼓を用いて演奏する。



調査の様子（1）【9月30日】



調査の様子（2）【9月30日】

【祭礼の流れ（当日）について】

- 6時00頃 山車の飾りつけ
- 8時30分頃 ハヤシ演奏開始（1～3番までを断続的に演奏）
- 9時20分頃 神輿を新明神社の拝殿前に移動
- 9時30分 新明神社での神事開始（エテンラク演奏）
- 10時20分 御神体を神輿へ移す
- 10時22分 山車と神輿が白山神社へ移動（ナカ演奏）
- 10時25分 山車と神輿が白山神社に到着
- 10時29分 白山神社での神事開始（エテンラク演奏）
- 11時05分 御神体を神輿へ移す
- 11時07分 山車と神輿が北東方向に巡行開始（イキ演奏）
- 11時12分頃 山車が回転（マワリメ演奏）し南西方向へ巡行（モドリ演奏）
（新明神社を通過後はイキ演奏）
- 11時33分頃 山車が回転（マワリメ演奏）し北東方向へ巡行（モドリ演奏）
（新明神社を通過後はイキ演奏）
- 11時45分 山車が白山神社を通過した際、神輿は白山神社へ向かう（ご神体を戻す）
- 11時47分 山車が本陣の前で回転（マワリメ演奏）し、新明神社へ向かう
（モドリ演奏）
- 11時53分 山車が新明神社に到着
- 11時58分 神輿が新明神社に到着（ご神体を戻す）



調査の様子（3）【10月1日】



調査の様子（4）【10月1日】

■ 今後の方針

調査の結果、ハヤシは在地のもの、ナカ・イキ・モドリ・マワリメは名古屋、あるいは犬山との関連性が指摘された。

今後は神社の棟札調査、山車の構造等の調査を実施して、祭礼や使用する道具の由来や改変状況等を調査するとともに、名古屋や犬山との関連性を考察す

ることとなった。

また安田実佐子氏には、今回の調査結果や所見を書面にまとめて提出していただくように依頼した。